

科目名称	精神看護学実習
授業コード	BK360
英語名称	Mental Health Nursing practice
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	宮城 純子, 及川 江利奈, 板橋 直人
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	<p>現在精神を病み外来通院をしている方は300万人とも500万人とも言われています。疾患の原因となるストレス耐性は、生育過程や加齢にも影響し人生の危機的状況にも影響します。私たちが精神的健康を維持するためには、精神疾患の知識を身につけ早期治療を心がけるとともに、過酷な環境に対する力強い耐性を身につけ環境を調整しストレスを乗り越える力をつけていくことが必要です。そこで、この実習では以下の3点に焦点を当て経験を通し対処能力を身につけます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)精神障害を持つ人達と関わることで、心の健康を維持する予防的視点を身につける。 2)治療の現場で行われる早期退院を目指した看護の視点を身につける。 3)デイケアを通じて、対処能力をつけるためのリハビリテーションの視点を身につける。本科目の担当教員は精神科に看護師として勤務経験を持ちその経験と技術を活かしながら精神科における特性を踏まえた実習指導を行う。教育課程内での位置づけは、専門科目（専門分野）の中の看護の実践である。
科目に関連する実務経験と授業への活用	<p>看護師を目指す上で必要な、精神看護学における講義を踏まえた上での実践にあたる科目である。この実習では看護師として臨床経験を持ち、かつ精神科看護師としての臨床経験のある教員が担当する。</p>
到達目標	<p>本科目は、カリキュラム・ポリシーに掲げる「多様な健康レベルや生活状況を考慮し、人間関係を形成しながら看護実践を学ぶ」ことに基づいて、ディプロマポリシーに示す「高度化・複雑化する医療に対応し、看護実践する基礎的能力を有している」「科学的な根拠に基づき、対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力、基本的な問題解決能力を修得している」「地域で暮らす人々の多様な文化、生活背景、価値観を尊重し、個人・家族および地域の健康レベルに応じた地域包括ケアを実践する基礎的能力を有している」「対象者に最善の支援ができるように、保健医療福祉システムの中で人々と協働する能力を有している」「対象者の様々な権利や人権を尊重し、看護専門職として倫理的な行動がとれる」を目指し以下に到達目標をあげる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ストレスフルな社会の中で、精神疾患を発症した意味が理解でき、精神疾患の予防の意味、早期発見と早期治療の意味、早期退院の意味、リハビリテーションの意味、再発しない生活の意味を実習を通して学び、実習の最後にプレゼンテーションを行い、知識と経験をまとめることができる。 2) 複数の施設での実習を経験することで、地域社会が行う精神保健に関する施策の重要性を考え、自分の言葉でまとめることができる。 3) 病院から退院、社会復帰と新しい健康的な人生の創造までを見聞きする中で、広い視点で看護を考える力と病院から地域を作るための看護を発信できる能力を身につけ、今後の看護経験に生かすことができる。
計画・内容	<p>精神看護学実習 1クール2週間 計90時間 (病院または地域施設1週間、地域施設他資料館見学各1～2日)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)精神科病棟または地域施設での実習4日間(担当教員：板橋・及川・宮城のいずれか) 個人の日常生活の調整だけでなく環境の調整も必要であり、患者から話を聴くだけでなく、関係づくりを行いながら観察し、治療や治療後の経過、社会生活における状況などの情報収集をおこないます。 2)デイケア、作業所または就労支援施設実習2日間(担当教員：板橋・及川・宮城のいずれか) 退院後の患者がリハビリテーションのために通う施設です。患者の目的達成のために看護としての関わり

計画・内容	と専門職の態度に着目していきます。 3)資料館見学1日間 (担当教員：板橋・及川・宮城のいずれか) 精神医療に関する資料館を見学し、とくに歴史と人権、および治療の実際について考えます。 5)学内まとめ (板橋・及川・宮城) 患者との関係構築の方法や、精神科病棟、精神科に関連する地域施設、歴史や人権についてディスカッションを行い、学びを深めます。
授業の進め方	看護学実習要項・実習要項 精神看護学 参照 精神科病棟実習4日間、地域施設実習、資料館の見学を行います。最終日はディスカッションを行い、学びを深めます。グループによっては、病棟実習が地域施設実習に代わる可能性もあります。
能動的な学びの実施	グループディスカッションの中で、新しい学びを吸収して下さい。学生への質問も活発に行う予定なので、積極的な態度が期待されます。
授業時間外の学修	実習前に、患者との関係性の構築方法、精神保健福祉法、内服薬の作用副作用、など他課題について取り組んでください。実習中は常に、バイオ・サイコ・ソーシャルな視点から対象患者に関する疾患や、アセスメントなど、患者理解に努めて下さい。(合計60時間前後)
教科書・参考書	【教科書】(2年次購入済み) 特に指定しないが、「心とストレス」「精神看護学概論」「精神看護援助論1,2」で使用したテキスト、ノートとする。 【参考書】 1. ナーシングポケットマニュアル 精神看護学
成績評価方法と基準	評価表をもと評価を行い、単位を認定します。 1 実習目標の達成度、実習状況、提出物(70%) 2. カンファレンス参加度(30%)
課題等に対するフィードバック	実習中、適時フィードバックを行います。
オフィスアワー	Campus Squareを参照
留意事項	1. 看護学実習要項・実習要項 精神看護学を熟読してください。 2. 全体オリエンテーション・直前オリエンテーションで必要事項を確認してください。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	非対面時の授業の進め方と成績評価方法と基準 zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせて実施します。 記録物50%、参加状況(参加度)50%で評価します。